



久礼田城跡（詰の段）からの展望 〔①スポーツセンター ②領石川 ③久礼田小学校 ④三宝山〕



久礼田地区史談会
川村忠義さん

久礼田地区（旧久礼田村の領石、植野、久礼田、植田の4地区）には、史跡や史実も数多くあります。中でも、長宗我部氏の流れをくむ久礼田氏歴代の久礼田城跡、土佐一条家とかかわりのある久礼田御所がよく知られています。このほか古墳（牛月、高松、鯛ノ骨溜め池、植田など）、植田土居城跡、墓所、寺院跡、神社などが散在しています。地元では、これらの貴重な史跡を通して、郷土のことをもっと調べたい、知りたいという声が高まり、昭和62年（1987年）1月、会員70名で久礼田地区史談会が発足しました。

発足

①久礼田地区史談会

設立総会では、初代会長に就かれた澤村明夫さんが、「土佐一条家と久礼田」と題して講演会や史跡めぐりを行った。機関誌「ふるさと」を1号から104号まで発刊したりするなど、地道な活動が続けてきました。

平成22年に「こうちNPO地域社会づくりファンド」と4地区からの助成を受け、各史跡に石の標柱、説明板や案内板を設置するなど、史跡周辺の整備ができました。雑木を伐採した久礼田城跡（詰の段）からは太平洋まで一望できるようになりました。

平成23年には、会員によって続けられてきた、久礼田の歴史・地理・伝説・民話などについての調査研究を資料集としてまとめることを目指しました。そして、前年に引き続き助成を受けることができ、南国市久礼田地区の史跡ガイドブック「久礼田の昔と会おう」を刊行することができました。この冊子の完成を祝い、史跡めぐりのウォーキングを

歩み

これから

実施。その途中で、南国市長と歴史民俗資料館の宅間一之館長が久礼田城跡と岡豊城跡（詰の段）とで、のろしをあげるというイベントを行い、おおいに盛り上がりました。

時間を忘れるほど熱く語っていた久礼田地区史談会の川村忠義3代目現会長から、山桜とツツジが美しい久礼田城跡を、住民の憩いの場となるよう守っていくこと、ガイドブックを活用した小学生への歴史学習を継続すること、弥生時代中期の銅戈が見つかった熊野神社の歴史を探ることなど、史談会の今後の取り組みについてお聞きし、取材を終えました。

特集 まほろば ウォーク

①久礼田地区史談会 ②国府史跡保存会 ③大湊史談会

私たちの住む南国市は、約1千300年前の律令時代、国府が置かれ、土佐の政治経済の中心地「土佐のまほろば」として栄えました。「まほろば」というのは、「実り豊かで、美しく住みよいところ」という意味で、古事記や万葉集で使われた言葉です。

永い時の流れを今に伝える歴史のまち、南国市には、戦国時代の武将長宗我部元親の居城跡、紀貫之邸跡、小蓮古墳、比江廃寺塔跡など、貴重な文化史跡が点在しています。

また、それぞれの地域にも、古墳、遺跡、神社、お寺、お地蔵さま、伝統文化や祭りなどが、遠く昔からの年月を経て大切に守られ、今に伝えられています。

それらは、自分たちが今生活している郷土の歴史を掘り起こし、文化遺産や文化について調査・研究を続けてこられた、史談会・保存会の方々の努力によるものも大きいと思います。

今回の特集では、広報委員が3地区の史談会・保存会の方々取材して、それぞれの会の長年の取り組みについてお聞きしました。

